

主管課	郷土館	一般会計					
		款		項		目	
		10	教育費	5	社会教育費	4	郷土館費

### 事業の主な内容及び成果

- ・今年度は、常設展示改装のため平成29年6月1日から平成30年3月31日まで休館した。  
平成29年4月から5月までの入館者数は、4,846人であった。

#### 【郷土館事務費】

- ・飯能市郷土館協議会を3回開催し、新たな運営方針などについての答申や、飯能市立博物館のミッション、愛称の選定などを審議した。
- ・平成28年度の事業報告である『飯能市郷土館館報第14号』を刊行した。

#### 【展示・学習会開催事業】

文化の向上と地域の歴史への理解を深めるために、下記の展示・講座及び学習会等を実施した。

##### ○展示会の開催

開催期間	事業名	総入場者数	1日平均
3月26日(日)～5月14日(日)	収蔵品展「絹の里の『うちおり』」・新収蔵品展	人 4,160	人 99.0
9月16日(土)～10月1日(日)	第20回飯能市小・中学校社会科研究展 (会場は市民会館)	778	55.6

##### ○講座・学習会等の開催

事業名	対象	日数	参加延べ人数
夏休み子ども歴史教室	小学生	日 1	人 12
小中学校社会科研究発表会	一般	1	43
子ども自然講座「どんぐり探検隊」	小学生	1	4
市民学芸員活動	一般	69	576

##### ○小学校への出張授業の実施

市内小学校より講師派遣の依頼を受け、合計9回、延べ681人の児童を対象に出張授業を行った。

##### ○講師派遣

市内団体等からの依頼を受け、25回、延べ773人に対し、当館学芸員などが講義を行った。

##### ○レファレンス対応

地域の歴史等に関する問い合わせが94件あった。

##### ○収蔵資料の利用

収蔵資料に対して、83件の利用(閲覧、貸し出し)があった。

## 事業の主な内容及び成果

### 【資料収集・保存事業】

地域の歴史や文化に関する資料や情報を収集・整理し、後世に伝えていくために必要な措置を講じるため、以下の事業を行った。

- ・ 42件の資料寄贈を受け、台帳登録及び整理保存を行った。
- ・ 収蔵庫、展示室の害虫・菌類の調査を2回行った。
- ・ 新収蔵資料の被覆燻蒸を行った。
- ・ 収蔵資料目録8(文書目録その3)「南村岡部家文書・北川村浅海家文書目録」を発行した。

### ○収蔵資料点数

種別	点数
古文書資料	52,425点
民具資料	5,784
考古資料	1,764
美術品等	753
古写真	6,068
映像・音声等	1,281
合計	68,075

平成30年3月31日現在。台帳登録分のみ。

### 【調査・研究事業】

地域の歴史や文化に関する調査・研究を行うことで、多くの情報を蓄積し、新たな地域の魅力や地域遺産の掘り起こしを行うため、以下を実施した。

- ・ 古文書詳細調査を行った。
- ・ 常設展示改装の自然コーナー展示製作のため、自然に関する情報の調査を行った。

### 【都市回廊空間整備事業】

歴史博物館としての役割を強化し、飯能河原・天覧山周辺の自然のビジターセンター的機能を追加するため、常設展示改装工事を平成29年6月1日から12月28日まで実施した。これにより、都市回廊空間の拠点としてふさわしい施設となった。

### 【郷土館施設管理事業】

博物館として市民が快適に利用できるよう、以下の修繕、工事等を行った。

- ・ 常設展示改装、名称変更に伴い、既設看板の修繕を行ったほか、新たに中央公園に誘導案内板を設置した。
- ・ 入館者の安全・利便性の向上を図るため、公共下水道に接続する排水管の改修工事、多目的トイレへのベビーシートの取付工事、駐車場の改修工事を行った。